

# 病理学・口腔病理学

## Pathology·Oral Pathology

2 単位 (必修) 2 年 (前期)

伊賀 弘起 (授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 石丸 直澄・准教授 / 歯学科 口腔病理学講座 (口腔分子病態学)

尾崎 和美・教授 / 口腔保健学科 口腔保健支援学講座

【授業目的】疾患の原因と病態に関する基本的知識を習得し、さらに顎口腔領域の様々な疾患の成立をトータルな生命現象として理解する。

【授業概要】疾患の成立を正常からの逸脱として臓器、組織、細胞レベルでとらえ、病変を構造と機能の両面から学習する。

【授業形式】講義

【授業方法】講義形式 (視聴覚教材, プリントなどを適宜用いる。)

【授業場所】(前期)月曜 2 時限目, 木曜 4 時限目 第 6 講義室

【授業テーマ】[授業テーマ]

【キーワード】[キーワード]

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【到達目標】

1. 病理学を学ぶことの意義について理解する。
2. 遺伝の概念について理解し、遺伝性疾患と先天異常について概説できる。
3. 細胞障害と組織障害の原因を列挙し、説明できる。
4. ネクロシスとアポトーシスとの違いを説明できる。
5. 増殖と修復、再生の異同を説明できる。
6. 循環障害の種類、原因およびそれぞれの転帰を説明できる。
7. 免疫・アレルギー疾患の種類と発生機序を説明できる。
8. 炎症の定義、分類、病理組織学的変化を説明できる。
9. 特異性炎の種類を列挙できる。
10. 腫瘍の定義、組織発生を説明できる。
11. 細胞の異形成、退形成、分化について説明できる。
12. 腫瘍の増殖、浸潤、転移について説明できる。
13. 老化について概説できる。
14. 歯の発育異常の分類を列挙できる。
15. 歯の損傷、沈着物について説明できる。
16. う蝕の概念を説明し、その分類を列挙できる。
17. 歯髄炎、根尖性歯周炎、辺縁性歯周炎の病態と特徴を説明できる。
18. 抜歯創の治癒過程とドライソケットの誘因を説明できる。
19. 口腔粘膜病変の種類と特徴を説明できる。
20. 口内炎の病因と特徴を説明できる。

21. 口腔領域の先天異常の種類と病態について説明できる。

22. 顎骨疾患の病因、病態を説明できる。

23. 顎関節疾患の種類と病態を説明できる。

24. 顎口腔領域の嚢胞性疾患を説明できる。

25. 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍の種類と特徴を説明できる。

26. エナメル上皮腫の特徴を説明できる。

27. 口腔癌の特徴を説明できる。

28. 唾液腺疾患の種類およびその加齢変化について説明できる。

29. 口腔組織の加齢変化について概説できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	病理学総論	病理学概念, 病因論	病理学の概念, 細胞と組織, 内因, 外因	1	伊賀
2.	〃	遺伝性疾患と先天異常	遺伝性疾患, 染色体異常, 先天異常の種類と要因	2	石丸
3.	〃	細胞障害	糖, 蛋白, 脂質, 核酸代謝異常	3	〃
4.	〃	〃	変性萎縮, 壊死, アポトーシス	4	〃
5.	〃	増殖と修復	肥大, 増生, 再生, 化生, 創傷治癒	5	〃
6.	〃	循環障害	循環系の概要, 虚血, 充血, うっ血, 出血, ショック	6	〃
7.	〃	〃	血栓, 塞栓, 梗塞, 浮腫, 傍側循環	〃	〃
8.	〃	免疫異常	免疫応答, アレルギー, 自己免疫, 移植免疫	7	〃
9.	〃	炎症・感染症	炎症の概念, 分類, 炎症細胞, 生体防御機構	8	〃
10.	〃	〃	特異性炎 (真菌, 結核, 梅毒, ハンセン病等)	9	〃
11.	〃	腫瘍	腫瘍の概説, 発生, 遺伝子変異, 分類	10	伊賀
12.	〃	〃	細胞の異形成, 退形成, 分化, 癌の進展様式 (浸潤, 転移)	11,12	〃
13.	〃	老化	細胞老化, 老化と寿命	13	石丸
14.	口腔病理学	唾液腺の病変	加齢変化, 化生, 腫瘍, シェーグレン症候群	28	〃

15.	”	口腔組織の加齢変化	歯牙硬組織の変化, 歯髄・歯周組織の変化, 口腔粘膜の変化, 舌・味覚の変化	29	”
16.	”	歯の発育異常	口腔病理学の概説, 歯の大きさの異常, 形の異常, 数の異常, 構造の異常, 萌出の異常, 位置の異常, 咬合の異常	14	尾崎
17.	”	歯の損傷, 沈着物	機械的損傷, 化学的損傷, プラーク, 歯石, 象牙質・セメント質の増生	15	”
18.	”	う蝕	病因, 誘因, 分類	16	”
19.	”	歯髄の病変	歯髄炎, 歯髄の石灰化	17	”
20.	”	歯周組織の病変	歯周組織の種類, 根尖性歯周炎, 歯周疾患	”	”
21.	”	抜歯創の治癒・	抜歯創の治癒, ドライソケット	18	伊賀
22.	”	口腔粘膜病変	口腔粘膜病変の分類, 口内炎, ペーチェット病, 前癌病変	19,20	”
23.	”	先天異常	唇裂, 口蓋裂, 唇顎口蓋裂	21	”
24.	”	顎骨の病変	顎骨骨髓炎, 上顎洞炎(歯性, 鼻性), 外傷	22	”
25.	”	”	線維性骨異形成症, ページェット病, その他の顎骨疾患	”	”
26.	”	顎関節病変	顎関節症, 顎関節炎, 関節リウマチ	23	”
27.	”	顎口腔領域の嚢胞	歯原性嚢胞	24	”
28.	”	”	非歯原性嚢胞, 軟組織の嚢胞	25	”
29.	”	顎口腔領域の腫瘍	エナメル上皮腫, 歯原性腫瘍, 非歯原性腫瘍, エプーリス	26	”
30.	”	”	口腔癌の種類, 分化度	27	”

【成績評価】筆記試験により行う。100点満点で60点以上を合格とする。

【再試験】必要に応じて行う。

【教科書】新歯科衛生士教本「病理学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版

【参考書】

- ◇ 標準病理学 医学書院
- ◇ 口腔病理学 I, II 永末書店

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217343>

【連絡先】

⇒ 伊賀 弘起(iga@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・教授室/633-7963)  
(オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)

⇒ 石丸 (ishimaru@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月~ 金16:00~ 18:00)

⇒ 尾崎 和美 (ozaki@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第2研究室/633-9309) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)

【備考】1~ 15回:2年次前期 月曜2時限目 16回~ 30回:2年次前期 木曜4時限目

# Pathology·Oral Pathology

2 units (compulsory) 2nd-year(1st semester)

Hiroki Iga(Manager) · PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Naozumi Ishimaru · ASSOCIATE PROFESSOR / PATHOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Kazumi Ozaki · PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

**Target)** 疾患の原因と病態に関する基本的知識を習得し、さらに顎口腔領域の様々な疾患の成立をトータルな生命現象として理解する。

**Outline)** 疾患の成立を正常からの逸脱として臓器、組織、細胞レベルでとらえ、病変を構造と機能の両面から学習する。

**Style)** Lecture

**Manner)** 講義形式(視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる。)

**Location)** (前期)月曜2時限目、木曜4時限目 第6講義室

**Theme)** [授業テーマ]

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Goal)**

1. 病理学を学ぶことの意義について理解する。
2. 遺伝の概念について理解し、遺伝性疾患と先天異常について概説できる。
3. 細胞障害と組織障害の原因を列挙し、説明できる。
4. ネクロシスとアポトーシスとの違いを説明できる。
5. 増殖と修復、再生の異同を説明できる。
6. 循環障害の種類、原因およびそれぞれの転帰を説明できる。
7. 免疫・アレルギー疾患の種類と発生機序を説明できる。
8. 炎症の定義、分類、病理組織学的変化を説明できる。
9. 特異性炎の種類を列挙できる。
10. 腫瘍の定義、組織発生を説明できる。
11. 細胞の異形成、退形成、分化について説明できる。
12. 腫瘍の増殖、浸潤、転移について説明できる。
13. 老化について概説できる。
14. 歯の発育異常の分類を列挙できる。
15. 歯の損傷、沈着物について説明できる。
16. う蝕の概念を説明し、その分類を列挙できる。
17. 歯髄炎、根尖性歯周炎、辺縁性歯周炎の病態と特徴を説明できる。
18. 抜歯創の治癒過程とドライソケットの誘因を説明できる。
19. 口腔粘膜病変の種類と特徴を説明できる。
20. 口内炎の病因と特徴を説明できる。

21. 口腔領域の先天異常の種類と病態について説明できる。
22. 顎骨疾患の病因、病態を説明できる。
23. 顎関節疾患の種類と病態を説明できる。
24. 顎口腔領域の嚢胞性疾患を説明できる。
25. 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍の種類と特徴を説明できる。
26. エナメル上皮腫の特徴を説明できる。
27. 口腔癌の特徴を説明できる。
28. 唾液腺疾患の種類およびその加齢変化について説明できる。
29. 口腔組織の加齢変化について概説できる。

**Schedule)**

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	病理学総論	病理学概念、病因論	病理学の概念、細胞と組織、内因、外因	1	伊賀
2.	〃	遺伝性疾患と先天異常	遺伝性疾患、染色体異常、先天異常の種類と要因	2	石丸
3.	〃	細胞障害	糖、蛋白、脂質、核酸代謝異常	3	〃
4.	〃	〃	変性萎縮、壊死、アポトーシス	4	〃
5.	〃	増殖と修復	肥大、増生、再生、化生、創傷治癒	5	〃
6.	〃	循環障害	循環系の概要、虚血、充血、うっ血、出血、ショック	6	〃
7.	〃	〃	血栓、塞栓、梗塞、浮腫、傍側循環	〃	〃
8.	〃	免疫異常	免疫応答、アレルギー、自己免疫、移植免疫	7	〃
9.	〃	炎症・感染症	炎症の概念、分類、炎症細胞、生体防御機構	8	〃
10.	〃	〃	特異性炎(真菌、結核、梅毒、ハンセン病等)	9	〃
11.	〃	腫瘍	腫瘍の概説、発生、遺伝子変異、分類	10	伊賀
12.	〃	〃	細胞の異形成、退形成、分化、癌の進展様式(浸潤、転移)	11,12	〃
13.	〃	老化	細胞老化、老化と寿命	13	石丸
14.	口腔病理学	唾液腺の病変	加齢変化、化生、腫瘍、シェーグレン症候群	28	〃

15.	”	口腔組織の加齢変化	歯牙硬組織の変化, 歯髄・歯周組織の変化, 口腔粘膜の変化, 舌・味覚の変化	29	”
16.	”	歯の発育異常	口腔病理学の概説, 歯の大きさの異常, 形の異常, 数の異常, 構造の異常, 萌出の異常, 位置の異常, 咬合の異常	14	尾崎
17.	”	歯の損傷, 沈着物	機械的損傷, 化学的損傷, プラーク, 歯石, 象牙質・セメント質の増生	15	”
18.	”	う蝕	病因, 誘因, 分類	16	”
19.	”	歯髄の病変	歯髄炎, 歯髄の石灰化	17	”
20.	”	歯周組織の病変	歯周組織の種類, 根尖性歯周炎, 歯周疾患	”	”
21.	”	抜歯創の治癒・	抜歯創の治癒, ドライソケット	18	伊賀
22.	”	口腔粘膜病変	口腔粘膜病変の分類, 口内炎, ペーチェット病, 前癌病変	19,20	”
23.	”	先天異常	唇裂, 口蓋裂, 唇顎口蓋裂	21	”
24.	”	顎骨の病変	顎骨骨髓炎, 上顎洞炎(歯性, 鼻性), 外傷	22	”
25.	”	”	線維性骨異形成症, ページェット病, その他の顎骨疾患	”	”
26.	”	顎関節病変	顎関節症, 顎関節炎, 関節リウマチ	23	”
27.	”	顎口腔領域の嚢胞	歯原性嚢胞	24	”
28.	”	”	非歯原性嚢胞, 軟組織の嚢胞	25	”
29.	”	顎口腔領域の腫瘍	エナメル上皮腫, 歯原性腫瘍, 非歯原性腫瘍, エプーリス	26	”
30.	”	”	口腔癌の種類, 分化度	27	”

- ⇒ 伊賀 弘起(iga@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・教授室/633-7963)  
(Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ Ishimaru (ishimaru@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月~ 金16:00~ 18:00)
- ⇒ 尾崎 和美 (ozaki@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第2研究室/633-9309) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)

**Note)** 1~ 15回:2年次前期 月曜2時限目 16回~ 30回:2年次前期 木曜4時限目

**Evaluation Criteria)** 筆記試験により行う。100点満点で60点以上を合格とする。

**Re-evaluation)** 必要に応じて行う。

**Textbook)** 新歯科衛生士教本「病理学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版

**Reference)**

- ◇ 標準病理学 医学書院
- ◇ 口腔病理学 I, II 永末書店

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217343>

**Contact)**